



校長先生の挑戦2：あったらあいさつ

6月1日の全校集会「校長先生の挑戦2」では「あったらあいさつ」という話をしました。

私は、毎朝、校門付近の掃除（落ち葉拾い・草取り）をしながら、登校してくる子どもたちを迎えています。ただ、私にとって、掃除は付け足しのようなもので、一番の目的は、子どもたち一人一人と笑顔で挨拶をすることです。



前回の全校集会の中で、油津中のグラウンドを覆い尽くす大量のシャボン玉の画像を見ながら、子どもたちに、「シャボン玉はすぐに消えてしまうけれど、一つ一つが虹色に輝いて、挨拶の時の皆さんの笑顔のようです。」という話をしました。今回は、その「挨拶」についてももう少し深く考える内容でした。

まず、子どもたちに、校門での私の挨拶について、以下のような話をしました。

- ★皆さんの笑顔が輝いているか確かめたくて朝一人一人顔を見て挨拶しています。
- ★朝は元気がなかった人も次に会う時は元気だといいいので昼も夕方も挨拶します。
- ★挨拶は、何度しても、誰にしても、損になるといことはありません。
- ★いつでも、どこでも、誰にでも、何度でも、それが「あったらあいさつ」です。
- ★これは校長先生の挑戦なので「皆さんもやりましょう」という事ではありません。
- ★でも、「挨拶されたら挨拶を返す事」。それは、やってくれるとうれしいです。

その後、家庭や地域等、学校以外での挨拶について、みんなで考えました。例えば、コンビニ等で、「いらっしゃいませ。」と挨拶され、何らかの挨拶を返す客がどれ程いるでしょうか？下図の吹き出しのやりとりのように、無言で入店し、欲しいものを購入して店を出るまで、結局、一言も発しないままという客も稀ではありません。

客が挨拶することは、何か損なことなのでしょうか？店員は客に無視されて当然な存在なのでしょうか？そして、そんな客（大人）の姿を見て、子どもたちは、知らず知らずのうちに、この「一方通行」の挨拶に慣れてしまっていないでしょうか？

挨拶は「人と人の心を感動でつなく素敵なもの」しかし、周りの大人が実践し、後ろ姿でそのことを示さなければ、それは、学校の中でしか通用しない絵空事になってしまいます。私と5年生の丸太大地さんとで演じた左図のようなやり取りを見て、子どもたちの純粋な心が抱いた違和感。その違和感が、このまま消え去ってしまわないことを願います。

また、この日は、育児休業に入られる保健室の上籬先生とのお別れ会がありました。御安産をお祈り申し上げます。落ち着かれたら、是非桜ヶ丘小に遊びに来てください。

地域清掃。やってみて、どんなことを感じたかな？

5月25日に、地域清掃がありました。子どもたちは、普段、より良い自分を目指して日々の小さな挑戦に取り組んでいます。そんな中、この「地域清掃」のような活動は、自分以外の「周り」にも目を向ける大切なきっかけとなります。より良い自分を目指す中に、自分以外の他者への意識を位置付けること。それは「自分はこの世の中でどのような存在でありたいのか」を考えることでもあります。



プール清掃、田んぼの代かき、自分のための下準備。



6月2日は、プール清掃がありました。今年は、プール清掃前に使用する除藻剤（プールに張った藻を除去する薬剤）がよく効いて、プール清掃は、例年に比べ、随分とスムーズに作業が進みました。この日は、4～6年生の子どもたちが、梅雨の雨の止み間をついて、この夏お世話になるプールを一生懸命に磨いてくれました。

また、6月7日には、5年生が、田んぼの「代かき」を行いました。プール清掃も、代かきも、これからお世話になる場所の下準備です。しっかりと下準備することが、気持ちよく水泳学習を行ったり、稲の収穫を向上させたりすることにつながります。同様に、清掃や給食当番等、諸外国では、大人が業務として行う作業を、日本では、教育の一環として、子どもたちが自分たちの手で行っています。サッカーワールドカップでは試合後に会場のゴミを拾い、災害時の炊き出し等では整然と並んで順番を待つ。日本では当たり前前の光景が世界を驚かせています。きっとこのような日々の取組の中で培われているものと考えます。



ものづくり教室、ブックバッグ、上手にできました。



6月9日は、ものづくり教室がありました。今回は、「洋裁」ということで、5名の洋裁技能士の方を講師として、ブックバッグづくりに挑戦しました。6年生は、家庭科の授業で既に裁縫を経験していましたが、久しぶりのためか最初は手間取っていました。ほとんど初めての5年生も、始めはおっかなびっくりでした。それでもみんな最後まで集中し、世界に一つの作品をつくりあげていました。

「お仕事魅力発見訪問」働くことについて考えました。

6月16日に、6年生の「お仕事魅力発見訪問」学習がありました。この学習は、子どもたちのキャリアに対する意識の高揚を目的とするもので、教育委員会などでキャリア教育に携わられた経験のある中武教頭先生が、一からカリキュラムを作られ、今年度、初めて実施しました。

4月当初から、教頭先生自ら授業に入り、子どもたちは「働く」ということについて少しずつ考えを深めてきました。当日は、事前に学習したことをもとに、学校近くにある「京屋酒造」、「日南山形屋」、「ことろど」の3事業所を分担して訪れ、インタビュー



をしたり、その様子をタブレットで動画撮影したりしました。この日は、宮日新聞、市報、3つのテレビ局の取材も入り、子どもたちの活動が広く県内に紹介されました。

この後、調べたことをまとめ、6月30日の参観日に発表することになっています。調べ、感じたことをもとに、一体、どんな発表をしてくれるのか？今からとても楽しみです。協力していただいた3つの事業所様には、改めて篤く感謝申し上げます。ありがとうございました。

7月の行事予定

3日	全校集会	21日	終業式
7日	油津小との交流（5年）	23日	個人面談（～28日）
18日	着衣泳		

